

竹林の風

～すべては学校のため すべては子どもたちのため～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和7年3月21日
発行責任者 黒須親章
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp>

第80号

学校で働きたい人応援イベント ～教師という仕事の魅力を発信～



県教育委員会では、教員の仕事に興味をお持ちの方を対象に、「学校で働きたい人応援イベント」と称し、学校における様々な業務等を知っていただく機会を設けました。昨年の10～11月に実施した説明会や個別相談会では延べ60名の方が参加され、学校で働くことへの関心が高いことがうかがえました。2月には、築瀬小学校の協力のもと学校見学会を開催し、実際の授業の様子等をご覧いただきましたが、「6年生を送る会」に向けて熱心に練習をする児童の姿に感動される方もいました。また、「育児や転勤で教職を離れていた。熱心に指導する先生の姿を見て、もう一度、教職に戻りたいと思った。」といった感想もありました。県教育委員会では、引き続き、市町教育委員会と連携しながら、教師という仕事の魅力発信と教育職員の人材確保に努めて参ります。下記サイトでは、本イベントに関する情報や、教職の魅力や職場環境等について現職教員が語る動画など、教員の仕事に関する情報を発信しています。育児等の理由で教職から離れている方、自分の経験を学校で生かしたいと思っている方など、教員の仕事に興味のある方がいらっしゃいましたら、お知らせいただけますとありがたいです。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m03/kouhou/saiyou-top.html>



授業で悩んでいることはありませんか？

問題解決的な学習過程の充実を図るには、どのように指導を工夫したらよいのだろうか？ 子供たちが見通しをもって主体的に学習に取り組むには、どのように学習展開を工夫したらよいのだろうか？

日々の授業改善に取り組む中で、そのような悩みを持ったことはありませんか？

指導と評価の
一体化とは？

学習評価の
ポイントは？



栃木県教育委員会が作成した「教育課程研究集会まとめ動画資料」は、その悩みに答えられるよう、日々の授業改善につながる具体的な事例や指導する際のポイント等を紹介しています。是非、今後の授業づくり等にお役立てください。

スッキリ！



※ 動画及び資料の複製、転載、再配布など活用する際は、出典を明示してください。

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について

昨年12月25日の中央教育審議会において、学習指導要領の改訂に向け、文部科学大臣から「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問されました。

諮問では、子供たちが社会で活躍する2040年代を展望するとき、初等中等教育が果たすべき役割はこれまで以上に大きいとし、「令和の日本型学校教育」を持続可能な形で継承・発展させることを前提としつつ、これからの時代にふさわしい学習指導要領の在り方について審議を求めています。（右参照）

審議の状況は、会議のWEB配信（視聴には申請が必要）や、公開される会議資料・議事録等で知ることができます。審議の過程そのものを把握することで、これからの学びの在り方について理解を深めたり、現在の教育課程や教育活動の改善に繋がったりすることができるのではないのでしょうか。

◆今後の開催予定（教育課程部会 教育課程企画特別部会）

- ・第4回：3月28日（金）13:00～15:30
- ・第5回：4月10日（木）9:30～12:00
- ・第6回：4月25日（金）15:30～18:00

◆会議資料 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/101/index.html

文部科学省が積極的に
情報発信しています。
是非、ご覧ください！



諮問文の中には、「自らの人生を舵取りする力」「全ての子供が多様で豊かな可能性を開花」「『正解主義』や『同調圧力』への偏りから脱却」など、教職員として気持ちの高まりを覚えるような言葉も出てきます。これからの学びの在り方をしっかりと捉えるため、また、教育に携わることへの誇りと責任を再確認する機会として、ぜひ本諮問に関する資料を御一読いただき、日々の教育活動に役立てていただければと思います。

教職員一人一人の誇りと品格は 教育への信頼を確たるものにする

諮問の構成

子供たちを取り巻くこれからの社会の状況

- ・不確実性の高まり・激しい変化が止まることのない時代
- ・「持続可能な社会の創り手」を育てる必要性 など

現在の学校現場の状況

- ・主体的・対話的で深い学び ・1人1台端末環境
- ・質の高い教師の努力と熱意に支えられ、大きな成果など

顕在化している課題

- 1 主体的に学ぶに向かうことができていない子供の存在
- 2 学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば
- 3 デジタル学習基盤の効果的な活用

主な審議事項

- 1 質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方
- 2 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方
- 3 各教科等やその目標・内容の在り方
- 4 教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合うことを含む、学習指導要領の趣旨の着実な実現のための方策